

# 事務事業評価シート

(H.29)No.	1077	(H.28)No.	1077
-----------	------	-----------	------

事務事業名	母子保健相談指導事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	健康・子育て支援室	北森洋司	

会計区分	事業コード	251501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 衛生費	母子保健事業	
項 保健衛生費	(小事業名)	
目 母子保健事業費	母子保健相談指導事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	2	保健・医療・福祉のネットワークづくり
	施策	2	健康づくり
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
<ul style="list-style-type: none"> <li>安全で快適な妊娠、出産支援。</li> <li>子どもの健やかな育ちと親の育児支援。</li> <li>発達障害等の継続支援と虐待予防。</li> <li>むし歯予防</li> </ul>
事業内容
母子健康手帳発行教室、離乳食教室、各訪問(妊婦、産婦、未熟児、新生児、養育支援)、乳幼児健康相談、2歳児健康相談、こども支援センターや地域の子育て広場等での相談、よい歯のコンクールを実施する。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)		H.29年度(事業量・取組計画)		H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
	主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子健康手帳発行教室 49回570人</li> <li>離乳食教室 12回144人</li> <li>周産期訪問及び養育支援訪問</li> <li>乳幼児健康相談 12回467人</li> <li>2歳児健康相談 12回105人</li> <li>こども支援センターや地域の子育て広場等での相談</li> <li>よい歯のコンクール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子健康手帳発行教室 48回</li> <li>離乳食教室 12回</li> <li>周産期訪問及び養育支援訪問</li> <li>乳幼児健康相談 12回</li> <li>2歳児健康相談 12回</li> <li>こども支援センターや地域の子育て広場等での相談</li> <li>よい歯のコンクール</li> </ul>	母子健康手帳発行教室、離乳食教室、周産期訪問及び養育支援訪問、乳幼児健康相談、2歳児健康相談、こども支援センターや地域の子育て広場等での相談、よい歯のコンクール	母子健康手帳発行教室、離乳食教室、周産期訪問及び養育支援訪問、乳幼児健康相談、2歳児健康相談、こども支援センターや地域の子育て広場等での相談、よい歯のコンクール	母子健康手帳発行教室、離乳食教室、周産期訪問及び養育支援訪問、乳幼児健康相談、2歳児健康相談、こども支援センターや地域の子育て広場等での相談、よい歯のコンクール	母子健康手帳発行教室、離乳食教室、周産期訪問及び養育支援訪問、乳幼児健康相談、2歳児健康相談、こども支援センターや地域の子育て広場等での相談、よい歯のコンクール

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		401千円		221千円	221千円	221千円	221千円
内訳(千円)	国・県支出金	27		20	20	20	20
	地方債						
	その他(諸収入)	99		90	90	90	90
	一般財源	0	275	0	111	111	111
人工数	職員	1.30人		1.70人	1.70人	1.70人	1.70人
	臨時職員等	0.29人		0.19人	0.19人	0.19人	0.19人
②概算人件費	0千円	10,005千円	0千円	13,073千円	13,073千円	13,073千円	13,073千円
①+②総事業費	0千円	10,406千円	0千円	13,294千円	13,294千円	13,294千円	13,294千円

## 4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
各事業の目的に応じ、保健師、管理栄養士、歯科衛生士、保育士、助産師が直接実施している事業と、助産師や心理判定員など専門職種に一部事業を委託し実施している事業があり、工夫を凝らしながら事業の質の向上を図っている。母子健康手帳発行教室の実施や訪問等による妊娠・出産の支援、2歳児健康相談の実施により支援につなげ、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりの推進に貢献している。事業に参加のない人の潜在的な悩みや不安に対し、名張版ネウボラ事業との連動を図り、地域づくり組織が行う子育て広場事業やまちの保健室相談の活用と、保健師等の専門相談へのつながり、ネットワークを地域に形成している。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
今後も専門職種の技術を生かしたサービスの向上と名張版ネウボラ事業との連携を図りたい。発達支援や虐待防止の視点の重視や、各地域の子育て支援事業との連携を図り、随時内容の見直しも図っていく。	健康なばり21計画 次世代育成支援行動計画 ばりっ子すくすく計画